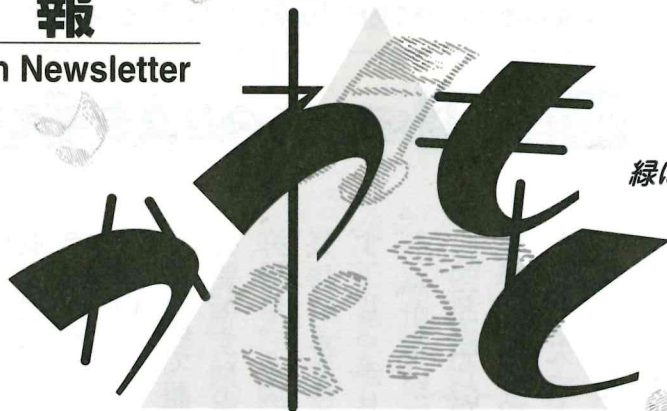




緑にこだます 音楽の里

2001 11 November No.367
平成13年

<http://www.web-sarin.co.jp/local/kawamoto>



子どもの自立と親子関係を考える「子育て研修会」が10月31日、社会福祉法人川本保育所でありました。核家族化や価値観の多様化により、子どもの養育やしつけなど家庭における教育力の低下が指摘される中、現代家族における親子関係のあり方を特集します。

特集 19

川本保育所で子育て研修会
子どもの自立を考える

町内の三保育所で組織する保育研究会と町教育委員会が開いた講座には、保育所や幼稚園などに通う子どもの保護者や保育士など四十人が参加。これまで、数多くの教育相談や子どものカウンセリングに携わっている益田市立益田小学校長・稲田彰さんの講演『子どもの自立と大人のかかわり』に耳を傾けました。

増え続ける学級崩壊
キレル子どもたち

「始業のチャイムが鳴っても席に着かず騒いでいたり、掃除を全くしないといった学級崩壊。ちよつとしたことで友だちに殴りかかったり、気に入らないと平気で教室を出て行くなど、わずかなストレスで簡単にキレル

子どもたち」
「こうした社会問題が、県内でも確実に増えてきています」

講演の中で稲田さんは開口一番、学校教育の現場を例に挙げながら、子どもの実態を指摘しました。

これらの要因は「乳幼児期からの親子関係が、子どもの自立を阻害している」とした上で、乳幼児期、学童期と、子どもの成長段階に応じたかわり方が必要であると述べました。

「かわいいね」
「いい子だね」
愛情たっぷり注いで
——乳幼児期——

稲田さんは、乳幼児期のかかわり方について「この時期は、子どもの情緒を安定させることが

特集19 子どもの自立を考える

大切です。おんぶやだっこで肌と肌のふれあいを持つことで、子どもに安心感を与えてほしい」

「笑顔で語りかけることも必要です。大人の表情や声の抑揚が、そのまま赤ちゃんの気持ちに左右させるからです。しっかり顔を見つめながら『かわいいね』『いい子だね』と話しかけて」——と、家族など周囲からの無償の愛情が不可欠であると述べました。

また、深刻化する幼児虐待や、母親の孤立化を背景に「保育所や幼稚園では育児相談など、ゆとりを持って我が子と接することができるよう母親へのケアも必要」と強調しました。

我慢や失敗の経験が

思いやりの心を育てる

—学童期—

子どもの自立心を育む段階

である学童期では、親の過保護や過干渉がそれを阻害している」と指摘。

「子どもはおもちゃの取り扱いやけんかを重ねることで、友だちへの優しさや思いやりが生まれます。我慢や失敗を経験し、その対処を身につけることで生活することを実感していきます。やがて思春期では、周囲の環境に適応

できる力をつけるのです」

「皆さんの家庭では頼まれもしないのに、毎朝寝坊する子どもを起こしたり、雨の日に学校まで車で送り迎えするなど、幼児期同様に、あるがままを慈しむ子育てを続けてはいないでしょうか」と参加者に問いかけました。

さらにこの時期は、親子の信頼関係を築くために「キャ

ッチボールや音楽など、子どもの興味ごとや遊びにつきあう」ことも求めました。

最後に稲田さんはキレル子どもたちを例に挙げながら「キレた一面だけを取り上げて対応策を考えてはいけません。どのような子育て環境の中で生まれ育ってきたのか、今後どのような処遇が必要なのか、子育て支援は人間の一生と同居スパン（期間）で考える必要がある」と述べ、少子化、核家族化時代の子育て支援には、保育施設や学校、地域の連携は、より必要性を増してくるとしました。

参加した母親からは「仕事で忙しく子どもとゆっくり接する余裕がなかった。しっかり子どもと向き合い愛情を注ぎたい」「子育ての悩みを誰にも相談できずに悩んだ時期があった。周囲の支援を求めることは恥ずかしいことではないと感じた」という意見が寄せられました。



稲田さんの講演を聴く保護者や保育士たち



特集19 子どもの自立を考える

インタビュー

二十一世紀の保育のあり方を示した国の「保育所保育指針」が改正されて一年。その柱の一つは「(保育所は) 地域の子育て家庭に対する相談・助言を行う」とし、保育施設に社会的な役割を求めています。核家族化が進む中、地域における子育て支援の中核として、育児支援に乗り出している地域子育て支援センターの谷智子さんに話を聞きました。

「川本保育所の一室に支援センターが開設して間もなく二年ですね。利用者の反響はいかがですか。」

「利用者の大半は、在宅で子育てをしている母親と、そのお子さんです。一日、

一組から五組の利用があります」

「近所に同年代の遊び相手がない、広い場所で遊ばせたい、育児の息抜きをしたいなど利用される理由は様々ですが、楽しく時間が過ごせると大変好評をいただいています」

「支援活動をする際に、心掛けていることは何ですか。」

「行事では、皆さんの意見をききながら計画をたてています。自然にふれる機会が少なくなっているせいか、田植えや芋植え、どろんこ遊び、川遊びが人気で

「子育ての楽しさを
見つけて」



川本保育所・地域子育て支援センター
保育士 谷 智子 さん

す。実施にあたっては、皆さんが中心になり行事を進めていく様、援助をしています」

「育児相談では、子育て家庭の抱える悩みが複雑化してきていますが、まずは子育ての楽しさを感じてもらおうような工夫をし

ています」

「どのような工夫でしょうか。」

「相談内容には▽食事の量や味付けに関すること▽どんなおもちゃを与えたらいいのか▽紙おむつと布おむつはどちらがいいのかなどがあり、世代間の考え

方の違いや、育児書など氾濫する情報に戸惑っておられるようです」

「ここでは考え方を一方的に示すのではなく、保育現場を見ても、らいながら、子育てにはマ

ニユアルはないことに気づいてもらうことを第一に考えています。そして、おむつ一つとっても、何を与えるのかだけでなく、どのような環境で与えることが必要なのかを感じ取ってもらうようにしています」

「今後の課題は。」

「今年の四月から、町が開いている妊婦検診や乳児相談の場に立ち会わせてもらっています。話し相手になったり、センターでの育児支援を紹介することで、出産や子育てに対する不安感を少しでも軽くしてあげたいからです」

「その皆さんには、出産時から満一歳になるまでの四回、はがき通信を送り喜ばれています」

「孤立化する子育て家庭や母親の負担感を和らげて、痛ましい虐待などを未然に防ぐためにも、地域の保育施設や行政、子育てサークル、学校などとの一層の連携が大切であると考えます」

地域子育て支援センター
(川本保育所内)
☎0855-72-0170

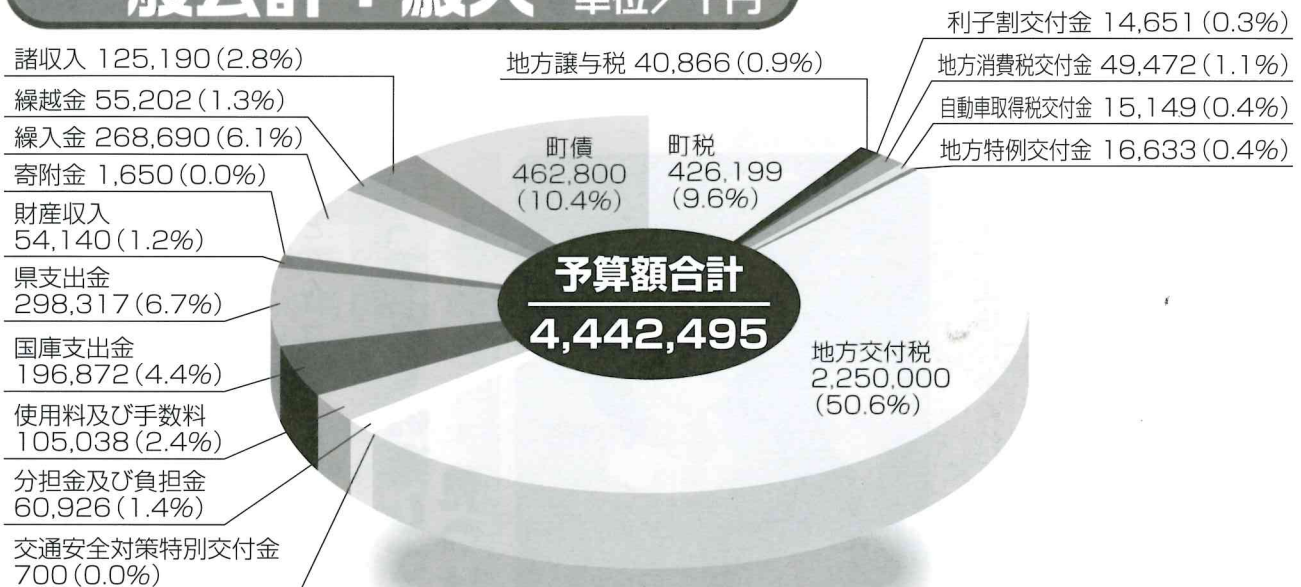
- 保育所開放
平日9:30~11:30
- 電話相談・もしもママコール
(電話番号は支援センターと同)
- はがき通信
- 保育所行事に参加ほか
- 因原・川本北保育所への出前保育

平成13年度上半期執行状況(4月1日~9月30日)

川本町では、町民のみなさんに財政の運営状況を理解していただくため、財政状況を公表しています。

※歳入歳出予算額は、9月末現在の数値です。

一般会計：歳入 単位／千円



一般会計／歳入

(単位：千円、%)

	当初予算	補正予算	現計予算	収入済額	執行率
町 税	426,199		426,199	259,432	60.9%
地 方 譲 与 税	40,866		40,866	11,116	27.2%
利 子 割 交 付 金	14,651		14,651	10,123	69.1%
地 方 消 費 税 交 付 金	49,472		49,472	26,892	54.4%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	15,149		15,149	4,788	31.6%
地 方 特 例 交 付 金	10,000	6,633	16,633	16,633	100.0%
地 方 交 付 税	2,250,000		2,250,000	1,603,165	71.3%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	700		700	0	0.0%
分 担 金 及 び 負 担 金	53,816	7,110	60,926	16,304	26.8%
使 用 料 及 び 手 数 料	105,038		105,038	44,803	42.7%
国 庫 支 出 金	186,840	10,032	196,872	27,233	13.8%
県 支 出 金	278,986	19,331	298,317	110,298	37.0%
財 産 収 入	52,465	1,675	54,140	3,434	6.3%
寄 附 金		1,650	1,650	1,650	100.0%
繰 入 金	311,497	▲42,807	268,690	0	0.0%
繰 越 金		55,202	55,202	55,202	100.0%
諸 収 入	99,091	26,099	125,190	28,809	23.0%
町 債	464,500	▲1,700	462,800	0	0.0%
合 計	4,359,270	83,225	4,442,495	2,219,882	50.0%

町有財産の状況

(単位：㎡)

不動産

土 地	443,165
建 物	58,743
山 林	2,335,880

(単位：千円)

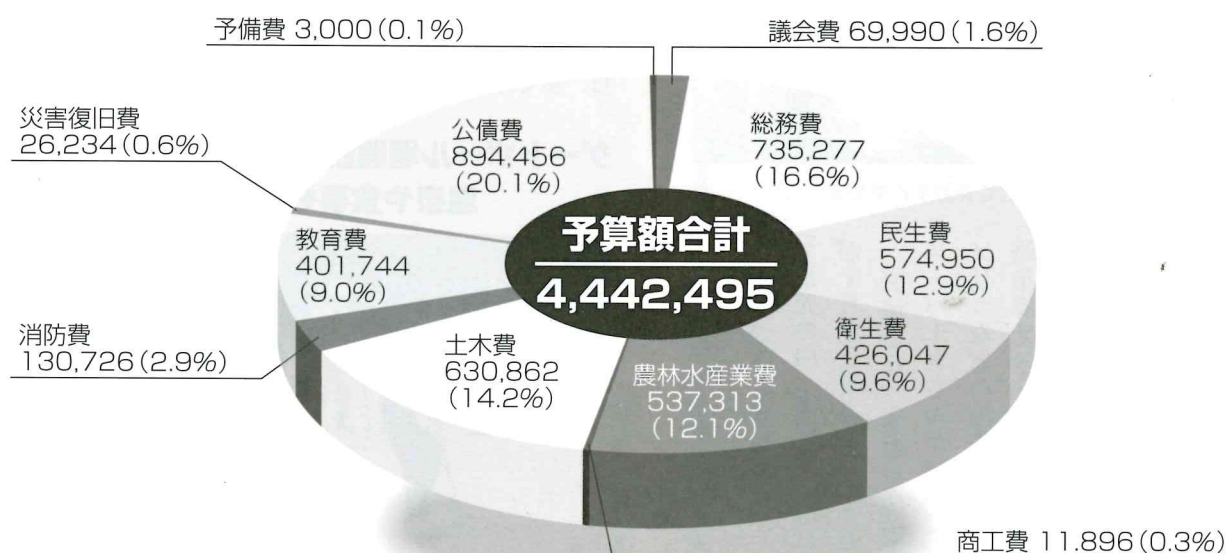
基金・積立金

財 政 調 整 基 金	130,431
減 債 基 金	325,700
学 校 教 育 施 設 整 備 基 金	97,000

公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	155,400
福 祉 施 設 整 備 基 金	166,400
ふ る さ と 創 生 積 立 金	87,539
中 山 間 活 性 化 推 進 基 金	2,287
地 域 福 祉 振 興 基 金	195,200
人 材 育 成 基 金	104,800
水 と 土 保 全 対 策 基 金	30,000
合 計	1,294,757

町の家計簿

一般会計：歳出 単位／千円



一般会計／歳出

(単位：千円、%)

	当初予算	補正予算	現計予算	支出済額	執行率
議会費	69,990		69,990	32,545	46.5%
総務費	730,113	5,164	735,277	341,420	46.4%
民生費	553,533	21,417	574,950	307,504	53.5%
衛生費	416,881	9,166	426,047	180,044	42.3%
農林水産業費	534,711	2,602	537,313	127,875	23.8%
商工費	11,466	430	11,896	6,497	54.6%
土木費	622,174	8,688	630,862	132,131	20.9%
消防費	123,003	7,723	130,726	85,091	65.1%
教育費	399,943	1,801	401,744	199,879	49.8%
災害復旧費		26,234	26,234		0.0%
公債費	894,456		894,456	235,169	26.3%
予備費	3,000		3,000	528	17.6%
合 計	4,359,270	83,225	4,442,495	1,648,683	37.1%

町債の状況

(単位：千円)

借入先	12年度末 現在高	13年度			
		償還済元金	償還済利子	償還額計	9月末元金残高
政 府 資 金	6,643,395	147,703	45,677	193,380	6,495,692
資 金 運 用 部	3,146,647	147,703	45,677	193,380	2,998,944
簡 易 保 険 局	3,496,748			0	3,496,748
公 営 企 業 金 融 公 庫	592,194	12,471	13,666	26,137	579,723
山 陰 合 同 銀 行	227,420	9,350	2,300	11,650	218,070
島 根 中 央 信 用 金 庫	48,300	3,450	489	3,939	44,850
計	7,511,309	172,974	62,132	235,106	7,338,335

異国料理で交流

西洋・中華料理を学ぶ



外国の料理づくりを通じて交流する参加者

県内で暮らす外国人が、母国の料理づくりを通じて地元の中・高校生と触れ合う「異国料理の交流会」が十月十三日、すこやかセンターで開かれました。

交流会は、本町で国際交流員を務めるアレックス・バードさんが初めて企画。イギリス、中国、アメリカなどの国籍を持ち、県内で国際交流員や外国語指導助手として活躍する十人が呼びかけに応じ、四カ国の西洋・中華料理の作り方を参加者に指導しました。

中国の家庭料理で野菜と肉炒めをパン生地で巻いた巻餅づくりに挑戦した中学生は「同じ材料でも調理方法によって国の違いが出てくる。家でもつくってみたい」と話しました。

弥山荘まつり

にぎわう

10/14



秋晴れのもと、湯谷温泉・弥山荘まつりが開かれました。会場には、農産物や特産品を販売する自治会などがテントを連ねて店開き。特設ステージでは江川太鼓の演奏や地元の神楽団、婦人会の踊りもあり、多くの来場者でにぎわいました。

ゲートボール場開設!

温泉や食事も楽しんで 11/1



悠湯プラザの用地にゲートボール場が開設し、三谷長寿会や町ゲートボール協会など関係者によるハクチョウゲ100本の記念植樹が行われました(写真右)。また、新たに発足した湯谷ゲートボール同好会の競技講習会や試合も開催。参加者は試合後、隣接する弥山荘で入浴したり秋の味覚を堪能しました。ゲートボール場の利用は悠湯プラザへ。☎0855-72-3300



完了年月日

平成十三年十月二十五日

因原五七〇番一

実施場所

鳥根県邑智郡川本町

補助金額

一、八七〇、〇〇〇円

事業内容

キャブバン一台

事業名

平成十三年度デイサービスセンターの車両整備補助事業

社会福祉法人川本福祉会(大谷義夫理事長)では、平成十三年度日本小型自動車振興会補助金を受けてデイサービスセンターの車両整備補助事業が完了しました。概要は次のとおりです。

川本福祉会からの

お知らせ

国際交流コーナー

イギリスで
生まれた
インド風カレー

Hello Everybody!! 国際交流員のアレックスです。

寒くなりましたね! この間、産業祭の国際交流協会テントでインド風カレーを出す事にしました。インドのカレーは数多くありますが、私たちが出したのはガラマサラ・チキンカレーでした。川本町にインド人がいないのになぜインド風カレーを出したのでしょうか? 実はインドは19世紀半ば頃から1947年まで、イギリスの植民地だったため、インド系イギリス人が数十万人います。イギリスのどこの町に行っても必ずインド料理のレストランがあります。インド料理は外食としてイギリスの伝統的な料理よりも人気があり、イギリス料理の一種としてイギリスの文化に入っていると良いのです。



それではガラマサラ・チキンカレーの作り方を紹介しましょう! 材料は神戸市のFBCという店に送ってもらえる事が出来ます。078-857-9000に電話していただければカタログを送ってもらえます。

HPは <www.fbcusa.com>。

材料 (4人分)

玉ねぎ(1個)、鶏肉(500g)、ガラマサラカレーペースト(大さじ2杯)、ココナッツクリーム(200ml)、油(大さじ2杯)、バスマティライス(4合)(日本のお米でも使える)



鶏肉を一口大に切る。玉ねぎをスライスしてから油を鍋に入れて温める。そして、玉ねぎを鍋に入れて、やわらかくなるまで炒める。鶏肉を入れて玉ねぎと一緒に5分位炒める。次はカレーペーストを入れて、全部を5分位炒める。最後にココナッツクリームを入れて、5分位ぐつぐつ煮る。バスマティライスの上のせて食べる。ビールと一緒に食べると特別おいしい!

多彩なイベント

第25回川本町産業祭



綱引き大会でパフォーマンスを繰り広げた「ミュージカル・あいと地球と競売人」チーム

第二十五回川本町産業祭が十一月三日、四日の両日、中央大通りで開かれました。沿道には地元商店や農業公社など、三十のテント市が軒を連ねる中、恒例の綱引き大会やJAジャンプ大会、川本中・高吹奏楽部の合同演奏など、多彩なイベントが繰り広げられました。主な大会結果は次のとおりです。

綱引き大会・男子の部 優勝 南佐木自治会綱組▽準優勝 南佐木自治会引組▽三位 西自治会

女子の部 優勝 南佐木自治会引組▽準優勝 南佐木自治会▽三位 西自治会

地域食材活用コンテスト 最優秀賞 鮎せんべい(百田百合子さん・勝部清江さん)▽特別賞 柚子ムース(榎平留美子さん)、柿アイス(中嶋美砂さん)、ギギせんべい、ギギみそ(百田百合子さん・勝部清江さん)



これまでに承認を受けた集落

湯谷(宮台と共同実施) 地域食材を生かした加工品づくり(集会所台所整備等)

《写真》、古市 料理教室の開催(集会所改修等)、上尾原 伝統行事やグループ活動備品等の整備

シリーズ⑨
集落の活性化を目指して

中山間地域集落維持・活性化緊急対策事業

人権週間 12/4~10

一人ひとりが差別や偏見などの人権について考え、人権の尊重される社会を築いていきましょう。

人権に係る問題は人権擁護委員へご相談ください。相談は無料、秘密は守ります。

川本町人権擁護委員

柳楽幸三さん、廣田智弘さん、小笠原春美さん、漆谷晏さん

予備自衛官に公募制導入

民間の優れた専門技能を有効に活用するため、予備自衛官制度に公募制を導入します。

公募制の概要

- 試験等により「予備自衛官補」として採用し、所定の教育訓練終了後、予備自衛官として任用。
- 平成14年1月から受付を行います。

問合せ 自衛隊大田募集事務所
☎0854-82-1437

交通遺児等育成資金の貸付等

交通遺児等育成資金貸付

自動車事故により死亡された方や重度の後遺障害になられた方の子ども（0歳から中学生まで）に対して、無利子の育成資金をお貸ししています。

重度後遺障害者介護料

自動車事故により頭部または脊髄に損傷を受け重度の後遺障害をのこし、常時、または随時介護を要する方は介護料を支給しています。

問合せ 政府出資法人
自動車事故対策センター島根支所
☎0852-25-4880

「国の教育ローン」 在学資金

対象 高校、短大、大学、専修学校、各種学校などに在学されている方の保護者または本人

融資額 学生・生徒1人につき200万円以内

金利 年1.85%

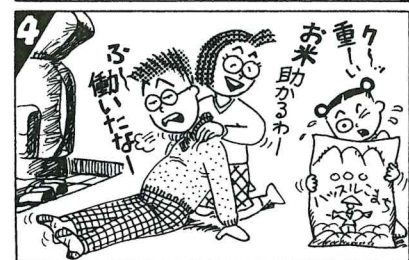
問合せ 国民生活金融公庫
浜田支店
☎0855-22-2835

表彰おめでとうございます

統計調査功績者に対する

知事感謝状

宇山民代さん、片岡 薫さん
才木克美さん、重富範喜さん
花田民行さん、松嶋孝尚さん



12月の保健行事

川本町役場健康福祉課

☎0855-72-0633

5日(水) ●リハビリ教室

10:00~15:00

すこやかセンター

6日(木) ●健康セミナー

(講演、ストレッチ体操)

13:15~16:30

悠邑ふるさと会館

●断酒会

19:00~21:00

すこやかセンター

11日(火) ●乳児相談

13:00~14:00

すこやかセンター

●成人健康相談

14:00~15:00

すこやかセンター

19日(水) ●リハビリ教室

10:00~15:00

すこやかセンター

20日(木) ●三原地区健康相談

9:30~10:30

朝日ヶ丘会館

10:45~11:30

親和集会所

21日(金) ●シルバー講座

(老人医療証交付)

13:00~15:00

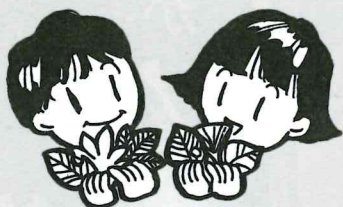
すこやかセンター

●心の健康相談・

物忘れ相談

13:30~15:00

川本健康福祉センター



交 差 点 情 報

身近な話題をお寄せください!

川本町役場総務課

〒696-8501

島根県邑智郡川本町大字川本545-1

☎ 0855-72-0631

Fax 0855-72-0635

Hp <http://www.web-sanin.co.jp/local/kawamoto>

E-mail kawamoto@web-sanin.co.jp

町の人口

♂ 男 2,285人 (2,330)

♀ 女 2,438人 (2,469)

計 4,723人 (4,799)

うち65歳以上 1,639人 (1,665)

うち15歳未満 517人 (543)

世帯数 2,020戸 (2,044)

平成13年11月1日現在の住民登録による
()は前年同月



福 祉

リフト付き自動車の 経費助成

身体障害者の移動に必要なリフト付き自動車の改造・購入費を助成します。平成13年4月1日以降に改造・購入をされた方、今後その予定がある方のご連絡ください。

対象者 町内の身体障害者手帳所持者のうち、下肢または体幹機能障害を有する方。

対象経費 上記の対象者、ま

たはその介護者が所有するリフト付き自動車の改造・購入に係る経費。(ただし購入の場合は標準車両価格との差額分を対象)

助成額 改造・購入にかかる経費の2/3の額(ただし40万円を限度)から所得に応じて定められた基準額を控除した額

問合せ 役場健康福祉課

☎0855-72-0633



子育て

保育所へ遊びにきてね

手作りマフラーをつくろう!

因原保育所 12月11日(火)

川本北保育所 12月18日(火)

時間はいずれも

9:30~11:30

問合せ 子育て支援センター
(川本保育所内)

☎0855-72-0170



選 挙

みんなで守ろう「三^{さん}ない運動」

政治家は有権者に寄附を贈らない!

有権者は政治家に寄附を求めない!

政治家から有権者への寄附は受け取らない!

●政治家や後援会の寄附は(一部の例外を除き)罰則をもって禁止されています。

●次のような場合も寄附禁止の対象となります。



町内会の集会や旅行などの催物への寸志や差入

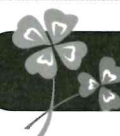


お祭りへの寄附や差入



お中元やお歳暮

川本町選挙管理委員会



暮らし

国民年金の事務が 変わります

地方分権一括法の施行に伴い、平成14年4月から国民年金の事務が一部変わります。

保険料の納付書

現在、市町村から送付していますが、来年3月に、平成14年4月分以降の1年分の納付書が国から直接送付されます。

保険料の納付先

全国の金融機関等及び社会保険事務所で納付できるようになります。また、全国の金融機関等で口座振替も可能です。

免除制度の新設

現行の免除制度に加えて、一定額以下の所得の方に対して半額免除制度が新設されます。

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632

インタビュー がっぺい 合併考 (5) こう

― 前回は、旧多紀郡の四町（篠山町、西紀町、丹南町、今田町）が人口増加に伴う新たな課題の解決策として、合併を選択したという背景を聞きました。今回は合併に至るまでの具体的な経緯を教えてください。

「旧多紀郡は、過去五回の合併協議が不調に終わるといって、経験を持っており、議会の判断に住民や行政は慎重でした。そのような中、平成七年にあった四町の議会議員選挙では当然、合併協議が争点となり、まちづくりに対して住民の関心が高まり、大きな節目になりました」

「翌年（平成八年）には四町長、町議会議長、副議長からなる任意の合併研究会が設置されました」

「そこではどのような論議がされたのでしょうか。」

「過去の失敗を教訓に、将来のまちづくりと、合併により財政問題は解決できるのかということにテーマを絞り論議を深めました。この時点で合併期日を平成十一年四月一日とし、▽合併の方式は、各町が対等な立場でまちをつくる対等合併▽合併後の町名には、全国的に知名度の高い『篠山』を入れる▽新庁舎は当面、四年前に新築した篠山町役場を使用し、新たな財政支出を抑える▽各町の財産は全て持ち寄るという合意がされました」

― 住民への周知はどのように行なったのですか。

「その年の夏から広報公聴活動を始め、合併の目的や、合併によりどのような効果や懸念が生じるのかなどについて広報紙や説明会などあらゆる機会を通じて情報提供を行いました」

「半年間こうした取り組みを重ねて、合併を二年後に控えた平成九年四月、法定の合併協議会を設置。『住民サービスは高く、負担は低く』とする本格的な調整作業に入りました」

― その作業で苦労されたことは。

「合併後の中心部と周辺部の格差や行政サービスの低下などといった住民の慎重論に対して

合併に至るまでの経緯（上） 兵庫県篠山市②

は、合併により目指すまちづくりの方針を丹念に説明して、理解を求めていきました」

「特に四町に差のある国民健康保険をはじめ、保育料、水道料、下水道の使用料などの公共料金、行政サービスをどこにあわせるかという問題では、住民生活に直接影響を及ぼすことだけに、議会と行政、あるいは各町間での考え方に差異が生じることに、調整案を何度も練り直し、行き来を繰り返して、神経をすり減らす作業が続きました」

※次回は「合併に至るまでの経緯（下）」をお伝えします。

兵庫県篠山市 合併への経緯

平成 4 年 8 月
旧多紀郡 4 町議会議員による研究会設立で合併が必要との判断
平成 7 年
4 町の議会議員選挙で合併問題が再浮上
平成 8 年 3 月
4 町任意の合併研究会を設置
平成 9 年 4 月
法定の合併協議会を設置
平成 11 年 4 月 篠山市が誕生
ホームページアドレス
<http://www.city-sasayama.hyogo.jp/>



兵庫県篠山市政策部
おおつい
次長 大対信文 さん

リレーエッセイ

私の趣味

19

三宅 恵美子

（川本町多田）

「私の生き甲斐」

三年前、別れになるとも知らず、元気な姿で共同作業に出掛けたまま一言も言葉を交わすこともなく、この世を去ってしまった夫。忽然と私の前から消えていった思いがけない事で、頭の中は渦巻いた。先立たれて初めて、よりどこ

ろを失い、どんなに頼りにしていたか思い知らされました。悲しみは消える事はありませんが、今は私の趣味を生かして、悠湯プラザより「古布の会」をつくっていただき、十カ月、精神的にも落ち着きを取り戻し、皆さまに支えられ、充実した日が送れるようになりました。



この度初めて「悠邑ふるさと総合文化展」に出展させていただきます、会員一同張り切っておられ、元氣付けられています。今日この頃です。

編集後記

▼「子育て支援」が声高に叫ばれています。日本では「なぜ必要なのか」という根本的な社会的合意ができていないと言わ

れています。▼来春から本町では「一時保育」や「幼稚園二年教育」が始まります。どの様な目的で新たな支援に乗り出すのか、子育て世代の声も交えながら今後、特集をしていきたいと思っています。（K）